

研究課題名	重症救急疾患の患者集約化は長期予後を改善するか：医療・介護連結データを用いた分析
研究期間	実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2012 年 4 月～2020 年 3 月の間に広島県内で敗血症もしくは重症熱傷の治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：敗血症患者および重症熱傷患者を中核医療機関に集約化して診療することの効果を検討します。 研究の方法：広島県が保有する医療・介護レセプトデータベースに保存されている研究対象者のデータを活用して、医療機関ごとの症例数や救急搬送距離が患者さんの長期予後（特に機能予後）に及ぼす影響を、統計学的手法を用いて検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、臓器補助療法（人工呼吸など）の有無、治療を受けた医療機関における当該疾患の年間症例数、自宅（介護レセプトに含まれる日常生活圏域名で代替します）から医療機関までの概算距離、など 情報の管理責任者：広島大学病院集中治療科 研究員 大木伸吾
外部への試料・情報の提供	広島大学病院から他機関への情報提供はありません。 広島県から機関の長（知事湯崎英彦）の許可を受けて提供された情報は、広島県庁内の本研究専用新たに設置した外部に接続されていないコンピューターで保管し、広島大学病院の研究者が集計・解析を行います。
利用または提供を開始する予定日	2025 年 2 月 18 日（実施許可日）以降
個人情報の保護	医療・介護レセプトデータベースに保存されている情報には、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる情報は含まれていません。あなたの資料・情報等を特定することができないため、研究への参加を取りやめることはできません。
研究組織	研究代表者 広島大学病院救急集中治療科 研究員 大木伸吾 共同研究機関 広島県健康福祉局健康危機管理課 課長 草薙真一 業務委託先 ニッセイ情報テクノロジー株式会社（医療・介護レセプトデータベースからの情報抽出）

研究に関するお問合せ先	本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 救急集中治療科 担当者：大木伸吾 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5456
--------------------	---